

それくらい、
愛してる。



**母を亡くした時、
僕は遺骨を
食べたいと思った。**



安田 顕

松下奈緒 村上 淳 / 石橋蓮司

倍賞美津子

監督・脚本：大森立嗣 原作：宮川サトシ「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った。」(新潮)

音楽：大友良英 / 主題歌：BEGIN「君の歌はワルツ」(ライオン・ミュージックエンタテイメント)

製作：岡宮聖良 村田高邦 安井利好 鈴木仁行 坂東浩二 清水 司 鎌倉 実 池野真之 荒木宏幸 伊藤高由美 福村甲一 エグゼクティブプロデューサー：加藤和夫 プロデューサー：小林智浩 川崎 忠 ラインプロデューサー：伊藤真人 撮影：野村直樹 編集：野村直樹 監修：野村直樹 美術：安宅紀宏 山本直輝 録音：赤澤誠大 編集：早野 光 衣裳：藤原香穂 立花文乃 ヘアメイク：川村英子 音楽効果：伊藤達一 VFXディレクター：須賀 勇 監修：小川哲夫 タイトルデザイン：赤松隆博 キースタッフ：田嶋利江 助監督：小島敏也 制作担当：栗原大祐 アニメイトプロデューサー：田嶋公章 制作：「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った」製作委員会 企画協力：新潮社 制作協力：レスパシオナル ネット 制作プロダクション：レスパシオナル 配給：アスミック・エース 配給：急文化庁文化芸術振興費補助金 © 宮川サトシ/新潮社 ©2019「母を亡くした時、僕は遺骨を食べたいと思った」製作委員会 bokuko-movieasmik-ace.co.jp

母が遺した“愛のかたち”に涙する！感動の実話。

「**ありがとう、おつかれさま、
さようなら。
お袋の子どもでよかったです。
お袋…愛しとるよ。」**



頼りないが優しい息子・サトシと明るくてパワフルな母・明子。平凡でユーモラスな宮川一家の日常は、母が突然ガンを宣告されたことによって**変化**していく。サトシは**恋人の真里**に励まされながら母のために奔走し、家族は戸惑いながらも支えていく。そして…母と別れて1年後、やっと家族それぞれが**新たな人生へのスタート**をきった頃、サトシの元に突然、**母からプレゼント**が届く。それは、想像をはるかに超えた特別な贈り物だった――。



宮川サトシの大人気エッセイ漫画を『さよなら溪谷』『日は好日』などで高い評価を得ている大森立嗣監督が映画化。主演には『愛しのアイリーン』『下町ロケット』などの話題作で、硬派な役から個性的な役まで幅広く演じる安田顕。母・明子には、黒澤明・今村昌平など数多くの名監督とタッグを組んできた倍賞美津子。サトシを支える恋人・真里にNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」「まんぷく」の松下奈緒、父と兄には、石橋運司、村上淳と日本映画界を代表する実力派俳優が集結！音楽は「あまちゃん」の大友良英が担当、主題歌「君の歌はワルツ」はBEGINが本作のために書き下ろし、作品を暖かく包み込みます。



2019年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch/108分

**天国の母から届いた“驚くべき贈り物”。
あなたの想像を超える、感涙の実話。**

**2019年2月22日(金)
全国順次ロードショー**